

松 緑 白 花

Vol 39

石垣市立石垣中学校
教頭 市原 教孝

12/25(金) 我が道に茨多し、されど我が道は一つ

第2学期終了 南和秀校長先生よりメッセージ



今日で長かった2学期も終わり。8月24日(月)から授業が始まり、台風被害で1時間授業でのスタートでした。124日間で、授業日数は79日と80日、授業時間数は、約430時間でした。元気で2学期が終われることを喜びたいと思っています。

「努力した人に必ずチャンスは巡ってくる。見せかけでなく本気で努力した人は必ずチャンスをつかむ。」

始業式で日々の努力の大切さを話しました。124日の積み重ねはどれだけの高さ積み上がりましたか。学習(知)、心(徳)、体力・健康(体)の面から、しっかり2学期を振り返って下さい。その振り返りを基に、冬休みから3学期にかけての過ごし方を考え、決意新たに目標を決め、自律的、計画的に過ごすことが、大きな成長につながります。規則正しい生活(自律)と自主的な計画、そして、継続する精神力が自分を伸ばす鍵になります。

学校として2学期を振り返ると、特に素晴らしかったことが3点あります。まず1点目は、生徒の皆さんの活躍です。野球部の全県制覇・全国大会出場権獲得。生徒会の県善行賞受賞。2年生・金城あいらさんの県陸上共通女子200m優勝と15年振りの八重山記録更新。城間須弥君の県柔道大会50kg級優勝。3年生・稲福功大君の全県学力テスト7055名中第1位。當間理桜さんの明るい選挙啓発ポスター、全国7万点以上の応募の中からの上位入賞等々、数多くの活躍がありました。本校の歴史に新たな1ページを刻む活躍で、石垣中学校の名前を、全県、全国に轟かした学期でした。

2点目は、学校生活の充実です。落ち着いた雰囲気での授業、集会での静かに聴く態度、朝のあいさつ、時間を守る態度、清掃時間の活動等々、全員が安心して楽しく過ごせる学校生活の落ち着きです。「あいさつ、時間、美化」の凡事の徹底です。部活動や個人の活躍も全て、この学校生活に支えられていると思っています。3学期以降もっと充実させて下さい。

3点目に、行事の成功です。合唱コンクール、地区陸上、中文祭、地区駅伝等、沢山の行事に心を一つにして取り組み、成果を出して、大成功させました。校内の行事では、学級の団結力を高め、校外の行事では、石中生の底力発揮し、誇りと愛校心・団結力を高める素晴らしい頑張りでした。3学期は、更に学級・学年の「絆」を深め



て、団結力を発揮して、クラスメイト全員の夢や目標が達成できる様な学級・学年にして下さい。一方、まだまだ努力を必要とする所が何点かあります。まず1点目は、学力です。学力テストで、県の平均より5ポイント近く下回っています。県平均、地区平均に達していないのが現実です。授業中の真剣味が未だ足りないと云うことです。学習も学級というチームで頑張る必要がある。伏せ寝や私語は、学習の雰囲気を壊す。また、注意に無駄な時間がかかる。勉強したい人の大きな迷惑に成る。学校全体で、真剣に学習する雰囲気を高める必要があります。

二点目に、健康安全です。怪我をしたり体調を崩す生徒が沢山いました。また遊び、ふざけの中で命に関わりそうなものもありました。何事を成すにも、先ず、健康安全。心も体も健康で、充実した学校生活ができるように、基本的な生活リズムを整え、健康を自己管理し、危険を予測した行動ができるようにして下さい。

2学期の終業式です。自分が、どれだけ伸びたか、振り返る機会を必ず持って下さい。そして、それを基に、3学期の目標、新年の目標、決意をしっかりと考えて下さい。伸びる人は、必ず、反省がある。そして、新しい目標がある。目標を決めたら、計画を立てる。計画したら、実行する。是が、繰り返されることで、人は必ず成長する。「**すべては、自分の手の中にある**」と云うことです。「**我が道に茨多し、然れど、我が道は一つ**」です。特に3年生は、受験に向けて大切な時期になります。計画的に自分を律して、3月に向けて頑張ってください。

さて明日から冬休みに入ります。冬休みのこの時期は、クリスマス、新年会など落ち着かない雰囲気の中で、生活リズムが乱れがちになります。地域・大人の皆さんも落ち着かない、浮ついた生活の中で、事件や事故が多くなることが考えられます。冬休み期間中も、石中生としての自覚を持って、生活リズムを守って、交通ルールを守って、健康で安全な生活を心がけて下さい。そして、希望に満ちた清々しい気持で1年のスタート、3学期のスタートが切れるように、新年の目標・希望をしっかりと立てて下さい。全員が希望に満ちたい新年を迎え、元気で1月6日に登校してくることを期待しています。

12/12(土) 祝・優勝！偉大な先輩を越えた！ マルゲン杯サッカー大会



全勝で優勝した石中新イレブン (第7回有限会社丸源水産カップ、写真・記事：唐真盛人先生)

○予選リーグ第1試合 石垣中2 - 0 石垣第二中

《得点》：金城太雅(1-5)、上地義哉(2-2)

《戦況》前半は中盤の大浜善俊(2-2)、三澤海人(2-3)、上地貴紀(1-2)がボールを支配し石中ペース。幾度も決定的なパスを出す。それに反応し、いいタイミングで飛び出すのが上地義哉、金城太雅、崎原夢希(2-4)。しかし、初戦の緊張と相手キーパーの好守でゴールネットを揺らすことができない。前半終わってス



大嶺 香葵 上地 貴紀

コアレス。後半も前半と同じような状況。流れを変えようと、義哉を中盤に下げ、大嶺香葵(2-4)をワントップに起用。直後、右サイドの崎原夢希からおくれたクロスに大嶺香葵が反応、相手CBとの激しいせり合いの中、ボールは金城太雅の前。落ちていて決め、待望の先取点。その後も石中のペースで試合を進め上地義哉が追加点をあげた。

○予選リーグ第2試合 石垣中5 - 0 大浜中

《得点》：金城太雅3、譜久山虎太郎(1-2)

《戦況》初戦の緊張から解放されたのか、終始、押し続け、次々と点数を重ねた。金城太雅がハットトリック。途中出場の譜久山虎太郎もピッチに立って3分でゴールネットを揺らす決定力を見せた。



金城 太雅 譜久山 虎太郎

○決勝 石垣中2 - 1 石垣中3年 《得点》：金城太雅、上地義哉、安富友貴(3-4)

《戦況》最後の相手はつい1か月前まで主力だった石中3年生。予選トーナメント、白保中3年を4-0、大浜中3年を3-1で下し勝ち上がってきた。サッカー関係者の誰が予想しても金城竜馬(3-1)率いる3年生有利。実際、キックオフ後も体力、スピードとも3年生が圧倒的。幾度となくゴール前に運ばれるが、CBの仲宗根政和(2-4)、西本翔馬(2-2)の身体を張った守りでゴールを許さない。GKの嘉手苺広羽(1-1)も1年生ながら大健闘。しかし、GKへのバックパス、一瞬の判断ミス。すかさず安富友貴にボールを奪われ、無人のゴールへボールが転がってしまった。0-1。正直、これで諦めるかと思った。しかし、このチームは違う。この1点が反撃ののろし。体負けしていても、果敢にボールを奪いに行った。「絶対勝ちたい」という気持ちが前面に。大浜善俊(2-2)がオーバーヘッドキック！このプレーで流れが変わった。その後、上地義哉が同点ゴール、金城太雅が決勝ゴール、直後、試合終了のホイッスル。今まで大きな背中だった先輩に追いつき、追い越した瞬間、感動の瞬間だった。大会表彰選手は以下の通り。【最優秀選手】大浜善俊(2-2) 【優秀選手】西本翔馬(2-2)、川満聖士(3-6)



嘉手苺 広羽



大浜 善俊 西本 翔馬

12/12(土) 個人複1・2位！団体準V！女バドも強い！

第8回地区バドミントン連盟中学校新人バドミントン大会が大浜中体育館で開催された。12日、大会初日の団体戦決勝、惜しくも大浜中に1-2で惜敗。団体優勝こそ逃したものの、翌日の個人ダブルス戦(白保中体育館)では本校同士で決勝戦。技能の高さを示した。1月16日の地区新人大会、期待が膨らみます。団体準V：宮良亜美(2-1)、中川沙耶加(2-2)、仲間楓花(2-3)、小嶺妃菜(2-4)、広瀬七帆(1-1)、比嘉穂乃香(1-4)、大泊心(1-4)、※マネージャー・砂川凜(1-1)



個人V宮良亜美・中川沙耶加組、準V仲間楓花・小嶺妃菜組

《1月のおもな行事》 夢を抱き 未来に輝け！

- 1/ 6(水) 始業式・認証式、リーダー研修
- 1/ 7(木) 3年総合テスト(国・理・英)
- 1/ 8(金) 3年総合テスト(社・数・音)
- 1/ 9(土) 県新人ハンド大会、県RBC杯バレー大会
- 1/10(日) 沖縄尚学高校入試(本校英語少人数教室)
- 1/11(月) 公休(成人の日)
- 1/13(水) 地区新人選手激励集会
- 1/14(木) 県立高校推薦願書受付(～15日)

- 1/16(土) 地区新人総体(～17日)
- 1/20(水) 生徒会引継式
- 1/23(土) 英検③
- 1/27(水) 3年最終進路決定面談(～28日)
- 1/29(金) 修学旅行出発(～2/1月、2/2・3は2年振休)
- 1/30(土) 県新人サッカー大会(～31日)
- 1/31(日) いしがき教育の日、AM日曜授業参観
- 2/ 1(月) 振替休日
- 2/ 3(水) 新入生説明会